



奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kizuna

No.297

2023
May

5

<https://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人:

関西障害者定期刊行物協会

編集人: 奈良県自閉症協会

支部長&事務局: 河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。



一九九六年五月一日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

日 本自閉症協会前会長の 山崎晃資 (やまざきこうすけ) さんが、4月21日にご逝去されました。

謹んで山崎先生のご冥福をお祈り申し上げます。山崎晃資先生は、日本自閉症協会の前会長であり、わが国のすぐれた医学者であり教育者でした。自閉症スペクトラム障害 (ASD) の啓発と支援に尽力したことで知られています。先生には我々奈良県自閉症協会も大変お世話になりました。自閉症についての理解を広め、社会における自閉症の支援を推進するために情熱を注がれ、自閉症の人々とその家族に寄り添い、彼らの声を代弁することを重要視されていました。また、教育や医療の現場での支援体制の充実や、早期診断と早期介入の重要性を訴えるなど、自

閉症の子供や家族を支援するための活動に力を注ぎ、一般の人々に対して自閉症について正確な情報を提供し、認知度を向上させるために積極的にメディアや講演活動もされました。自閉症に関する啓発イベントやキャンペーンの開催にも取り組み、国際的な自閉症支援団体との連携を重視し、国際会議やシンポジウムへの参加を通じて、世界の取り組みや最新の研究成果を日本に紹介し、日本の取り組みを世界に広める役割を果たしました。また、オートワーキング (自閉症の特性を生かした雇用形態) の導入と普及にも力を入れました。自閉症の人々が社会で自立して働く機会を増やすために、企業や団体との協力を促進しました。これらの活動により、山崎晃資氏は自閉

症スペクトラム障害の理解と支援の推進に大きく貢献しました。彼の日本自閉症協会におけるリーダーシップと情熱は、自閉症の人々と我々家族にとって希望となりました。山崎先生は多くのご著書を執筆されていますが、先生のお考えがよく分かる啓林館のホームページに特別支援教育に関して述べられた「気になる子どもの診断 (1) 発達障害といわれる子どもたち」 https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/cskn/pdf/62_04.pdf が無料掲載されていますので、ぜひご覧ください。(河村)



次のテーマでご協力頂ける方をお願いしますとのことです。

■各テーマと依頼対象者

[1] いとしごと同じ年のお子さんご家族の歩み

▼対象者: 1990 年前後 (1987 年 ~ 1993 年生まれ) に生まれたお子さんご家族

いとしごと 200 号記念特集第 2 弾として、いとしごと 1 号の発行年の 1990 年前後に生まれたお子さん (33 歳位) とそのご家族の歩みをご紹介します。

日本自閉症協会「いとしごと」掲載記事募集について

[2] 高校進学体験談

▼対象者: 高等学校の進学体験談を教えていただける親御さん
学齢期の特集として、高校進学編をお届けする予定です。

お子さんが高等学校在学中や、卒業後 5 年以内くらいの方で、進学先をどのように決定したかなどの体験談をご紹介します。

■取材対象者への依頼内容
それぞれメール等で 5 問程度の質問

にお答えいただく形で取材させていただきます。

す。またお写真のご協力をお願いできればと考えております。

■その他

- ・大変恐れ入りますが謝礼はお支払いいたしかねます。
- ・ご協力頂きましたご家族には、見本誌を数部お送りいたします。
- ・メール取材は 6 月中を予定しております。
- ・応募多数の場合には、勝手ながらこちらで依頼者を選定させていただきます。

■締切：2023年6月1日
 ぜひ皆さまの貴重な体験や想いを、誌面を通じて会員の皆さまにお届けできればと思っております。貴会の会員様の中で、ご協力いただけそうな方がいらっしゃいましたら、その旨こちらにお返事いただけますと大変ありがたいです。
 また、会員様にご案内いただけます場合には、下記のURLをご紹介します。

▼1990年(前後)生まれ・インタビュー協力応募フォーム
<https://forms.gle/CnLdHkdCDv2y9Q9q7>

▼高等学校の進学体験談インタビュー協力応募フォーム
<https://forms.gle/bRw8WD6JrTCf2PvH6>

本件に関しましてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせくださいませ。

ご検討のほど、どうぞよろしくお願いいたします。
 一般社団法人
 日本自閉症協会事務局
 電話 03-3545-3380
 Fax03-3545-3381
 E-mail asj@autism.or.jp
 URL <http://www.autism.or.jp/>



会 員 各 位

**2023年度特定非営利活動法人奈良県自閉症協会
 第16回総会について**

現在も新型コロナウイルス感染症が完全には終息していません。そこで、本年はZoomによる総会にしたいと思います。正会員の過半数の委任状が書面表決を頂くことで、総会を成立させたいと考えています。Zoomでの総会参加希望者は事前にメールアドレスをお知らせいただき、追ってZoomのIDとパスワードをメールにてお知らせいたします。総会議案書は奈良県自閉症ホームページ「きずな」<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>に掲載します。ホームページ「きずな」で(パソコンで奈良県自閉症協会を検索)あるいは添付のQRコードをスマホで読み取ることで閲覧できます。総会成

立のため、正会員の皆様には、お手数ですが、必ず同封のZoom総会出欠(委任状又は書面表決)ハガキを早めに事務局に送り返していただきますようお願いいたします。総会の各号議案についてのご質問ご意見あれば、kawafune@ares.eonet.ne.jpまでメールをください。総会の日までに、お知らせいただければ、当日、説明や審議事項として取り上げたいと思います。

記

日時 令和5年5月22日(月曜日)
 午後13時30分から
 場所 大和郡山市矢田山町85番地10
 特定非営利活動法人奈良県自閉症協会事務局から
 Zoomにより開催
 TEL 0745-53-6531 ×

ル kawafune@ares.eonet.ne.jp
 総会の議案書について
 ※会員のみ、HP「きずな」から総会議案書の入手と閲覧ができます。PDFファイルのパスワードはsentokunです。(すべて小文字)総会後は掲載を消します。
 以下は議案書の概要です。
 1号議案 2022年度(令和4年度)活動報告の承認…Zoomの役員会の実施・会報の発行・HAHAHAキャラバン隊公演・
 2号議案 2022年度(令和4年度)会計決算報告の承認…収入1221447円、支出609558円繰越611889円
 3号議案 役員会の承認 理事…河村・上島・湯浅・光野・渡辺・岩崎・櫻井・穴戸・堀・飯田 監事…野仲
 4号議案 2023年度(令和5年度)事業計画(案)の承認…月1回の役員会(会員相談会を兼ねる)会報

絆発行・世界自閉症啓発デーのイベント実施・勉強会の実施・SNSの利用情報交換・HAHAHAキャラバン隊・行政および他団体との協力連携。
 5号議案 2023年度(令和5年度)会計予算(案)の承認…収入予算額1150889円支出予算額1150889円
 ※総会へのご協力よろしくお願いいたします
 特定非営利活動法人
 奈良県自閉症協会
 理事長 河村舟二



奈良県における発達障害の小児科医による診断について

会員の大家医師からメールで情報を頂きました。奈良県での自閉症の早期発見早期療育につながる事が期待される内容です。(河村)

ご無沙汰しております、最近活動に参加出来ていなくて申し訳ありません。実は近年、奈良県内でも発達障害に対する小児科医の診療レベルを上げていかないといけないということが課題になっていて、奈良医大小児科の関連病院の中で奈良小児神経発達症研究会が立ち上がりました。年に1-2回の勉強会などを行いながら、少しずつ一般小児科医でも発達障害を診察出来るようにしていこうという流れです。もちろん高度な対応が必要な場合は発達の専門医にお願いするスタンスは変わりません。こ

の事を知っておいていただきたいと思って連絡させていただきました。奈良県でも受診困難となる患者さんが減ってくればと願っています。

市立奈良病院 小児科 大家敬太



＜お知らせ＞

毎年4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」です。わが国では、それに続く4月2日～8日を「発達障害啓発週間」と定め、世界自閉症啓発デー日本実行委員会を中心に全国各地で様々な啓発活動が展開されています。

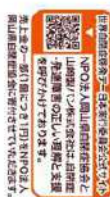
そのような中、この趣旨に賛同いただいた山崎製パン(株)様より、世界自閉症啓発デーのロゴマークや表示がパッケージにデザインされた商品(写真上)が下記の要領で発売されることになりました。パッケージの裏面には、上記実行委員会公式サイトにリンクするQRコード等も表示(写真中)されています。また、発売当初には、特製ラベル(写真下)が貼られます。

この商品は、

- 同社岡山工場(岡山県総社市)で製造され、
- 6月1日からの2カ月間、
- 中四国地方において販売される予定です。

なお、売上金の一部(1個につき1円)が山崎製パン(株)様よりNPO法人岡山県自閉症協会に寄付されます。

皆さんよくご存知の人気商品のパッケージを通じて、自閉症・発達障害の正しい理解と支援の輪がより一層広がることを心から願っています。街頭での啓発チラシやグッズの配布とはまた違った新しい啓発のスタイルが、これを機にどんどん登場して来ることを期待しています。つきましては、一人でも多くの方にこのことを知っていただきたいと思ひ、お知らせさせていただきました。お持ちのSNS等のネットワークを通じてこの情報を発信していただければ幸いです。



【NPO法人 岡山県自閉症協会】
 〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ2F
 TEL (086) 801-4010 FAX (086) 801-4030
 E-mail: asj-okayama@kirameki-plz.com

静岡県自閉症協会から情報提供いただきました。

厚生労働省および文部科学省への要望

2023年5月11日

静岡県自閉症協会

会長 津田明雄

厚生労働省への要望

1. 早期発見・早期療育の取り組み強化

不登校、引きこもり、強度行動障害などで、本人や家族などが長期にわたり苦しみ、先の見通しも立たないという状態に追い込まれていることが大きな問題となっており、自閉スペクトラム症が関係していることが多いことが指摘されます。悪化させないために、また改善するためには早い時期からの取り組みが重要であり、関係者の連携が重要です。幼児期、学齢期から、家庭、保健、福祉、医療、教育が連携し、一人ひとりを理解し、個々に応じた支援が行われるような取り組みが進められることを要望します。

2. 総合的な視点での成人期の自立支援の検討

近年では地域でアパートなどにおける一人住まいの支援や、日中も夜間も過ごせる日中活動支援型のグループホームを増やす取り組みが行われています。なお、自閉スペクトラム症と知的障害をあわせもつ人への支援として、日中の活動を充実させること、安定させることが特に大切で、成人期の幸せにつながることから、日中は就労継続支援事業や生活介護などにおいて、自閉スペクトラム症の特性を理解し、夜間はグループホームで支援を行うことを中心に、24時間、365日考えた取り組みに力を入れていただくよう要望します。

3. 強度行動障害など

強度行動障害など行動面に課題があり特に支援が難しい人については、生活介護や就労継続支援B型などで、日中における安定した生活を核として確立しながら、24時間の状態をみて、個別の活動、時間への細やかな対応と、全体を見通した対応の検討が必要です。

困難なケースについては、現在行われている強度行動障害支援者養成研修では限界があり、研修の受講を終えた人が多くなっても、実際に受け入れることができる事業所が思うように増えないという問題があります。理論的なことを学ぶ現在の研修だけでは、難しい方への適切な支援が難しい現実があります。

具体的な実践を通じて経験を通じて学ぶことが必要であり、そのような実践ができる施設が必要です。一定の条件（定員、職員配置、改善の目標期間）のもとでこの取り組みができる施設を各都道府県に最低1か所以上（人口規模によりさらに増やす）設置されるよう要望します

4. 発達障害者支援センターの強化

発達障害者支援センターが全国に展開され、一定の役割を果たしていますが、基本的には直接支援を行わず、短時間の面談や支援機関を対象とした研修などから、活動に制約があり、困難なケースに対して、直接支援や困難ケースについて継続的に重点的に取り組むことが難しい状況もみられます。不登校、他害、自傷、強度行動障害など困難事例について現在の体制で取り組むことは難しいのが現状であり、専門性の高い人材が具体的に関わって支援することが必要です。発達障害者支援センターへの国としての予算を引き上げるとともに、直接支援を行うことができるよう、役割についても見直しを行うなど、発達障害者支援センターの機能強化を要望します。

（補足）

市町においても、発達障害支援の取り組みの強化や、福祉関係の相談支援事業所などが増えていることから、課題があった場合に、市町の機能や相談支援事業所が相談に対応することが増えています。しかし、こ

これらの機関には、自閉スペクトラム症を中心とした発達障害について高い専門性を持たないところも多く、適切なアドバイスを行うことが難しく、事業所を紹介することが中心となるのが現状です。支援会議などが開かれるケースは増えていますが、専門性のない方が集まって検討していることも少なくありません。これに医療が加わるケースもありますが、医療では直接支援は行わなわず、薬の処方ということが基本になり、支援会議についても高い専門性を持つ人が入ることが少ないのが現状です。

文部科学省への要望

1. 生徒一人ひとりが必要とする合理的配慮を提供し、将来につなげる

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害の特性を持つ人は、みんなと同じ、みんなと一緒にという活動や環境の中で辛い思いをすることがあります。本人の辛さ、困難さが理解されず、本人を苦しめ、不適切な行動や不登校などにもつながることがあります。

特別支援教育の取り組みが広がり、個別支援計画の作成も行われていますが、一人ひとりに応じた合理的な配慮を行うことについては、十分な整理が行われず、本人が辛い思いをしているケースが見られ、持てる力を発揮できず、理解されず、不登校や行動障害につながる状態も見られます。

学齢期に、合理的な配慮が提供され、本人も自分を理解して必要な合理的配慮を求めることができるようにすることが、成人期に向けて極めて重要です。

2. 福祉サービスとの連携

放課後等デイサービスなど、福祉サービスを利用する児童が多くなりました。

教育との連携の必要性が言われますが、すべての生徒について丁寧な情報交換を行うことは、現実には困難な状況にあります。

なお、生徒に何らかの問題が起きた場合には、支援会議が行われていますが、相談事業所が入って、実際に児童と関わっている放課後等デイサービスの事業所が入らないケースもあります。

成人期も含めて、直接支援をしている事業所を含めた関係機関の連携を高めることが必要です。

3. 高等学校への特別支援教育の強化

通級の取り組みが行われていますが、週2時間程度で社会性に関する学習に力を入れているのが現状であると理解しています。自閉スペクトラム症の特性を持つ人は、得意不得意の差が大きいことから、教科ごとの支援を必要とすることもあります。高等学校における通級などの特別支援教育では中学校までに行われていた学科についての支援を受けることができず、公立の高等学校への進学をあきらめて通信制の高等学校に進み、高等学校卒業となるよう対応するケースが増えていると認識しています。（都道府県など全国では違いがあると思います）

卒業後の就労を考えると、可能であれば通学して学ぶことができるような生徒を増やす取り組みが必要です。このためには、高等学校への特別支援教育を広げること、合理的配慮を丁寧に行うこと、通級や特別支援学級などにより、学科への支援が必要です。

4. 特別支援学校の対象に自閉スペクトラム症を加えてください。

5. 特別支援学級の定員を8人から5人としてください。

以上

予算要望書について

奈良県自閉症協会 河村舟二

予算要求の基礎にある考え方として、昨年国連の障害者権利委員会から日本政府に対して行った勧告を実現していくことを、まず最初に、厚生労働省および文部科学省に対して明確に、日本自閉症協会として書き、計画的な施策を作り、予算要求をして下さい。

理由

国連の障害者権利委員会が日本政府に対して行った勧告を実現するためには、厚生労働省や文部科学省などの関連省庁が予算計画を策定し、政府の積極的な取り組みが必要であり、そのためには適切な予算計画が欠かせません。その計画に基づいて適切な政策を実行することが必要です。具体的には、障害者がより豊かな生活を送れるように、教育、雇用、医療、福祉、交通などの分野で、障害者に対するサービスの向上や、バリアフリー化の推進などが求められます。また、国連の勧告に基づいて政策を策定する際には、障害者団体や関連の専門家などから意見を聴取することが重要です。そして、政策の実施後には、その効果を定期的に評価し、必要に応じて改善を行うことも必要です。

両省には以下の問題点を踏まえた予算要望書を日本自閉症協会として作成してください。

○厚生労働省

早期支援の不足

自閉症や発達障害の人には、早期の支援が必要です。そのためには、保健・医療・福祉・教育などの分野で連携した早期支援体制を整備することが求められます。しかし、現状では、診断から支援までの期間が長く、適切な支援が遅れてしまうことがあります。また、支援の充実には予算や人材などの問題もあるため、早期支援の不足が課題となっています。

適切な福祉サービスの提供

自閉症や発達障害の人が必要とする福祉サービスを適切に提供することも求められます。例えば、訓練や作業所、就労支援などが含まれます。しかし現状では自閉症や発達障害の人に対して必要な福祉サービスが不足していることがあります。特に、訓練や作業所、就労支援などの選択肢が限られている場合があります。また、地域によっては、サービスの質や量に差があることが課題となっています。

支援者の専門性の向上

自閉症や発達障害の人に対する支援に携わる職員の専門性向上が必要です。そのためには、研修や資格取得の機会の充実などが必要です。

○文部科学省

インクルーシブ教育の推進

日本では、インクルーシブ教育の実践が進んでいません。自閉症や発達障害の人に対しても、個々のニーズに合わせた適切な支援を提供しながら、できる限り普通学級での教育を推進することが望ましいとされています。そのためには、教員の教育や施設のバリアフリー化、個別支援計画の策定などが必要です。

教員の教育・訓練の強化

障害を持つ児童生徒の多様なニーズに応えられるよう、教員の知識・技能の向上が必要です。そのためには、特別支援教育に関する研修や、教育学部のカリキュラムの改善などが必要です。

学校施設の改善

障害を持つ児童生徒が快適かつ安全に学校生活を送ることができるよう、学校施設のバリアフリー化が求められます。例えば、車椅子での移動ができるようにスロープの設置、手すりの設置、トイレや更衣室の改善などが必要です。

家庭や地域との連携の強化

障害を持つ児童生徒が学校で十分に支援を受けるためには、家庭や地域の理解と協力が不可欠です。そのためには、地域と学校が連携して、障害を持つ児童生徒が地域で暮らす上で必要な支援を提供することが重要です。

障害のある児童生徒への適切な支援

自閉症や発達障害の人が、適切な支援を受けながら、社会参加や自己実現を果たすことができるようになるため、障害を持つ児童生徒に対しては、適切な支援を提供することが必要です。そのためには、特別支援教育の充実や、個別支援計画の策定などが求められます。

その他

社会的な理解や認知の不足

自閉症や発達障害について、社会的な理解や認知が不足していることがあります。そのため、差別や偏見、ステレオタイプなどが社会的な問題となっています。また、そのような認知の不足が、自閉症や発達障害の人に対する適切な支援やサービスの提供にも影響を与えていることがあります。これらの課題に対して、政府や地域社会が取り組む必要があります。教育現場や地域の専門家、障害者団体などと協力し、政策の策定や実施に取り組むことが必要です。また、政策の効果を定期的に評価し、必要に応じて改善を行うことも重要です。

NDF 奈良障害フォーラムのメールを通して、愛知県精神障害者家族会連合会から出された岡崎警察署における拘置中の男性死亡事件についての声明（2023年4月1日）の情報をいただきました。自閉症の人たちにも関係する問題だと思いますので、掲載させていただきます。

2022年12月4日に愛知県岡崎警察署に拘置された精神疾患を患っている43歳男性が死亡した事件についてご本人、及びご家族の皆様にご謹んで哀悼の意を表します。

新聞報道によれば、2022年11月25日外出時、道に迷い、言動がおかしいとなどと通報された。署は、男性が暴れるなどしたため身柄を拘束して周りの安全を確保する必要があると判断し、逮捕したとみられる。

11月27日までに10日間の拘置が決定した。翌日にも暴れるなどして保護室に隔離され、戒具で身体拘束される。12月2日に措置入院

に向け精神科医の診察を受けるが入院に至らず、理由は不明。4日に息をしていない状況で見つかり、市内の病院で死亡確認（死亡診断書には脱水症、死因腎不全）亡くなる5日間ほど食事をとらず、水も十分与えられていなかったことも分かっている。県警は、署の一連の対応が特別公務員暴行陵虐容疑に当たるとみて捜査している。

<声明>

1. 保護室における身体拘束は人権侵害である。

男性がベルト手錠や捕縄といった「戒具」で裸のまま拘束され、戒具の使用時間は延べ140時間以上に及んだ。拘置所の監視カメラに署幹部を含む複数の署員が男性を蹴ったり、引きずったりする姿が映っていた。室内にあるトイレがうまく使えず後頭部が便器に入った状態があった。

2. 拘置所で適切な医療行為がされなかった。

拘置所で暴れるなどした男性につ

いて専門家は「落ち着かせるには医療行為が必要で だった」と指摘。男性は拘置場で錯乱状態にあったのではないかと。常識では理解できない行動をしているのは明らかに病気の影響だ。当初は落ち着いていても、服用していた薬を飲まなくなり、症状が悪化した可能性がある。病気で暴れているのか、粗暴犯で暴れているのか、判断がつかない場合は、囑託医がいればすぐに相談できる。

3. 警察官への、障害者や病気に対する理解のための教育強化の徹底、及び拘留者への適切な医療・対応が実施されることを希望します。

4. なによりも、市民に対し信頼回復を1日も早く行い、緊急時に警察にたよれば安心して暮らせる社会の確立を希望します。

特定非営利活動法人愛知県精神障害者家族会連合会会長 江崎英直
※ 岡崎警察署における拘置中の男性死亡事件について、愛家連として
の見解を公表し社会に広く訴えています。

2023年度補助事業の募集概要

2023年度補助事業として、JKA補助事業ならびに全国心身障害児福祉財団（国庫）補助事業を申請しており、下記事業を加盟団体への委託事業として実施いたします。

※補助事業実施の確定は5月下旬～6月頃の見込みとなり、お申込みを頂いた団体様から当協会で開催団体を検討させていただいた上での実施確定となります。お申込みをいただいても確定ではございませんのでご注意ください。

●国庫補助事業

<概要>

在宅心身障害児（者）、保護者及び施設職員等に対する相談・療育指導、療育研修、その他レスパイトやピアサポートのための取り組みを行う等により、在宅心身障害児（者）等の福祉の向上等を図ることを目的とする。

<対象時期> 2023年7月～2023年12月に実施

福祉相談

（内容）在宅心身障害児（者）及び保護者やその家族に対し、日常的な生活に必要な療育等に関する相談について、医師等専門家及び障害児を育てた経験を持つ者が問題解決にあたる。相談内容によっては、関係機関（児童相談所、医療機関、福祉事務所等）への斡旋及び連絡等を行う。

対象経費：相談対応 1日あたり5,000円見込み

●JKA補助事業

<実施対象時期>2023年6月～2024年2月上旬まで

学習相談事業（4団体程度）

（内容）ASDの人や家族、支援者を対象とした学習相談会を開催する。学習相談会はASDの理解を深める講演会と講師が個別のケースに対応する相談会の二本立てを基本とする。また、個別相談会を行わない場合は懇親会や事例検討会等を行うこととする。オンラインも対象内となる。

（補助金額） 事業対象経費 49,000円 経費の3/4の補助のため実質補助金額は約 36,750円

対象経費：講師・補助員旅費 2,000円×3名=6,000

講師・補助員謝金 15,000円×1名、7000円×3名 =36,000

会場借上料 7,000円

集団指導キャンプ（3団体程度）

（内容）ASDの子供と親や兄弟姉妹等の家族を対象とした宿泊型の療育キャンプ事業を実施する。療育キャンプではASDの子どもに対し、専門の講師による療育プログラムを実施する。また親を対象とした講演会や懇談会、茶話会を開催し、ASDに関する理解を深め、親と子の相互理解と将来の社会参加への足掛かりとすることを目的とする。

（補助金額） 事業対象経費 367,200円 経費の3/4の補助のため実質補助金額 275,400円

対象経費：医師等講師謝金 20,000円×2日×1名=40,000円

専門指導員謝金 8,000円×2日×2名=32,000円

集団指導員謝金 4,900円×2日×4名=39,200円

看護師謝金 8,000円×2日×1名=16,000円

参加者（講師・補助員含む）宿泊費 7000円×20名=140,000円

バス借上料 1台 100,000円

JRなど運賃割引推進ニュース

2023年4月20日(木) No.85号 発行: 全国精神保健福祉会連合会
交通運賃割引全国運動推進PT 座長: 新銀輝子 事務局長: 奥田和男
連絡先携帯電話 090-3845-3247 Eメール okuda.kazoku@kcn.jp



2023年4月1日 近鉄は介護者同伴条件のママ運賃割引を実施

近鉄と接続する3社は身体・知的も含めて同伴条件を撤廃

近鉄は、2023年4月から料金値上げと合わせて精神障害者への運賃割引の適用を発表しました。みんなねっとは昨年6月と8月、近鉄本社を訪問して身体・知的に適用している介護者同伴の条件撤廃を求めましたが、私たちの求めに応じてもらえませんでした。

そんな時、養老鉄道から三重県連へ運賃割引実施の情報が届き、三重県連は県内の鉄道の精神障害者運賃割引の実施状況を調査して、中小私鉄の素晴らしい内容を報告してくれました。近鉄を含めた実施内容は次のとおりです。(裏面にJRなど身体・知的への割引制度の内容)

なお、{伊賀鉄道}と{四日市あすなろう鉄道}の実施日は、2021年4月1日です。

「近畿日本鉄道」

1級: 介護者と共に利用 5割引 本人のみで利用の場合は101km以上に限り5割引
2級・3級: 本人のみ101km以上に限り5割引

「伊賀鉄道」(近鉄伊賀神戸駅~上野市駅~JR関西本線伊賀上野駅 16.6km)

1級: 介護者と共に利用 本人と介護者 5割引 本人のみで利用 5割引
2級・3級: 本人のみ...5割引

(精神への適用に合わせて、身体・知的も同伴条件を廃止)

「四日市あすなろう鉄道」(あすなろう四日市駅~うつべ駅 5.7km、枝線1.7km)

1級: 介護者と共に利用...本人と介護者 5割引 本人のみで利用 5割引
2級・3級: 本人のみ 5割引

(精神への適用に合わせて、身体・知的も同伴条件を廃止)

「養老鉄道」(近鉄桑名駅~養老駅~JR東海道線大垣駅~揖斐駅)

1級: 介護者と共に利用 本人と介護者 5割引 本人のみで利用 5割引
2級・3級: 本人のみ...5割引

(精神への適用に合わせて、身体・知的も同伴条件を廃止)

「三岐鉄道」(近鉄富田駅~西藤原駅 26.5km、西桑名駅~阿下喜駅 20.4km)

1級: 介護者と共に利用 5割引 本人のみで利用の場合は101km以上に限り5割引
2級・3級: 本人のみ101km以上に限り5割引

(身体・知的の同伴条件のママ精神に適用)

私たちは、近鉄と4社が適用に踏み切ってくれたことに感謝するとともに、これまで、私たちがJRや大手私鉄に注目して、中小の動きに関心が届きませんでした。静岡県連会長でみんなねっと副理事長の赤池さんは、3社が3障害への適用を機に同伴条件廃止の英断に「各地域の中小の鉄道は、日常生活の上で障害者の利便性も高く大きな意味がある」とコメントをよせてくれました。

【参考】JR の旅客運賃割引規則（JR各社共通）

対象	割引対象乗車券類	割引率	記事
第1種障害者とその介護者	普通乗車券 回数乗車券 普通急行券	50%	私鉄等他鉄道会社線とまたがる場合を含みます。但し回数乗車券はJR線区間単独の発売となります。
第1種障害者とその介護者 又は12歳未満の障害者とその介護者	定期乗車券 (小児定期乗車券を除きます。)	50%	私鉄等他鉄道会社線とまたがる場合を含みます。小児定期旅客運賃については割引を適用しません。
第1種、第2種障害者が単独でご利用になる場合	普通乗車券	50%	片道の営業キロが100キロを超える場合（私鉄線等他鉄道会社線にまたがる場合を含みます。）

〈民営鉄道の割引制度はJRの運賃割引制度に準じています。(西鉄を除く)〉

〈航空旅客運賃割引〉

●第1種身体障害者（身体障害者手帳の交付を受けている満12歳以上の身体障害者で、同手帳の「旅客鉄道株式会社運賃減額」欄に第1種と記入されている者）及び第1種知的障害者が介護者と共に利用する場合 ⇒ 本人と介護者1人。

●第1種身体障害者若しくは第2種身体障害者（身体障害者手帳の交付を受けている満12歳以上の身体障害者で、同手帳の「旅客鉄道株式会社運賃減額」欄に第2種と記入されている者）又は第1種知的障害者若しくは第2種知的障害者が単独で利用する場合⇒本人のみ。

※ 日本航空グループが、2018年10月4日予約受付分から、全日本空輸グループ等が、2019年1月16日予約受付分から、身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の所持者に対して、本人と介護者1名の割引を行う。1種2種の区分は行わない。等級も問わない、と精神障害者への割引適用を契機に全ての手帳所持者を同一の制度に改正。

〈有料道路の通行料金の割引〉

●身体障害者が自ら自動車を運転する場合又は重度の身体障害者若しくは重度の知的障害者が乗車し、その移動のために介護者が自動車を運転する場合 ⇒ 50%割引。

日本自閉症協会事務局からの情報です。

内山登紀夫副会長による講演動画「自閉症の診断を受けた親御さんに伝えたいこと」(第1話)を公開いたしました。順次、全4話を一般公開する予定ですが、会員さまは本日(5月12日)より【全話ご視聴が可能】です。会員の皆さまにご案内いただき、この機会にぜひご視聴ください。とのことです。(河村)

===

【動画】

日本自閉症協会 副会長 内山登紀夫先生 講演動画「自閉症の診断を受けた親御さんに伝えたいこと」

第1話 自閉症の診断を受けた親御さんにまず伝えたいこと

<https://youtu.be/BVVJ9mBtchA>

第2話 親御さんがした方がいいこと、しなくてもいいこと

<https://youtu.be/Rm5163Tj7ws>

第3話 自閉症を理解する

<https://youtu.be/mKHYQEDFPpw>

第4話 親御さん自身のメンタルケア

<https://youtu.be/dM1fnKwj2hU>

※ 第1話は、すでに一般公開しております。

※ 第2話は5月19日～、第3話は5月26日～、第4話は6月2日に順次一般公開の予定ですが、会員の方には本日から上記のURLから視聴可能です。※一般の方へのご案内は、上記の一般公開予定日までお控えいただけますようお願いいたします。

===

本動画では、内山登紀夫先生がドクターとして、自閉症の診断を受けた親御さんにまずお伝えしたいことを、優しく・わかりやすくお話頂いています。感想などお聞かせいただけましたら嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

=====

一般社団法人 日本自閉症協会

asj@autism.or.jp

=====

国立特別支援教育総合研究所(特総研ジャーナル第12号)に、令和4年度における諸活動の成果等をまとめが特総研のWebサイトに掲載されています。本誌では、特総研が令和4年度に実施した研究の概要、諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向、事業報告を紹介しています。

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/kiyou_jarnal_bulletin/#!/#jor

※特総研ジャーナル第12号は研究紀要の次の項目の一番上にあります。



支援困難度の高い強度行動障害者の受入促進へ向けた調査研究(支援困難度の高い強度行動障害者の地域での受入促進へ向けた支援体制の推進等に関する調査研究事業所調査)の報告書が公開されました。

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/assets/pdf/welfare-promotion-business2023-05.pdf>

本調査は、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等、自治体の3つを調査したものです。報告書は約130頁もありますが、概要は頭の数頁にあります。ぜひご覧ください。



岡山県自閉症協会より
(日本自閉症協会役員メール
を通じての情報提供)

加盟団体の皆さま
いつも大変お世話になっていま
す。NPO 法人岡山県自閉症協会副
理事長の竹谷裕之です。
この度、「世界自閉症啓発デー」の
趣旨に賛同いただいた山崎製パン

(株)様より、世界自閉症啓発デー
のロゴマークや表示がパッケージ
にデザインされた商品が添付ファ
イルの要領で発売されることにな
りました。つきましては、一人でも
多くの方にこのことを知ってい
ただきたいと思い、お知らせさせ
ていただきました。お持ちのネッ
トワーク等を通じてこの情報を発
信していただければ幸いです

す。どうぞよろしくお願いたし
ます。

NPO 法人岡山県自閉症協会事務局
〒700-0807

岡山市北区南方2丁目1 3-1

きらめきプラザ2F

TEL (086) 801-4010

FAX (086) 801-4030

E-mail: asj-okayama@kirameki-
plz.com

奈良県障害福祉関連等情報を提供します。

最新情報

○ (5/8) 知事就任記者会見

TML <https://www.pref.nara.jp/item/293997>.

htm#itemid293997

就任式

テキスト <https://www.pref.nara.jp/63416.htm>

映像 [https://www.youtube.com/](https://www.youtube.com/watch?v=AKpym9sDi0A)

watch?v=AKpym9sDi0A

就任会見1

テキスト <https://www.pref.nara.jp/63417.htm>

映像 [https://www.youtube.com/](https://www.youtube.com/watch?v=pEDJeGT3R7w)

watch?v=pEDJeGT3R7w

就任会見2

テキスト <https://www.pref.nara.jp/63418.htm>

映像 [https://www.youtube.com/](https://www.youtube.com/watch?v=7puaWLYVtv)

watch?v=7puaWLYVtv

○ (5/2) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に
伴う対応の変更について

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/294272>.

htm#itemid294272

資料 [https://www.pref.nara.jp/](https://www.pref.nara.jp/secure/294272/5.8ikou%20taiouhouhou%20.pdf)
[secure/294272/5.8ikou%20taiouhouhou%20.pdf](https://www.pref.nara.jp/secure/294272/5.8ikou%20taiouhouhou%20.pdf)

○ (4/24) 第36回 新型コロナウイルス感染症
対策本部会議

HTML <https://www.pref.nara.jp/63359.htm>

資料 https://www.pref.nara.jp/secure/293945/20230424_36naracoronaonbu.pdf

○ (5/16、21) オストメイトの方への個別相談
会

人工肛門、人工膀胱を持つようになり、1人で悩んだり、
苦勞されている方を対象とし、専門家や同じ立場の方
に相談することで悩みなどを解消し、日常生活や社会
生活を元気に過ごしていくため、個別相談会を開催し
ます

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/293365>.

htm#itemid293365

○ (6/30) 令和5年度中途失明者等生活訓練希
望者の募集について

県では、視覚障害者の自立と社会参加の促進を図るた
めに、「中途失明者等生活訓練事業」を実施します。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/292742>.

htm#itemid292742

○ (6/2) 令和5年度身体障害者補助犬(盲導犬、
介助犬、聴導犬)貸与希望者の募集について

県では、身体障害者の自立と社会参加の促進を図るた
め、「身体障害者補助犬貸与事業」を実施します。

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/292102>.

htm#itemid292102

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円